



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2018 08 19

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明（できるだけご参加ください）（3階303教室）
11:30~
- ◆ 模擬授業（3階 303教室）
11:50~
- ◆ 体験実習（4階436 SGD室）
「社会における薬剤師の活動」
1回目11:00~11:30 2回目13:00~13:30
- ◆ オープンラボ（4階 専門ラボ5 417）
「タンパク質を見てみよう」 11:00~14:00
- ◆ オープンラボ（3階 専門ラボ1 315）
「有機化学の実験室を覗いてみよう」
11:00~14:00
- ◆ 学生交流・進学相談（5階 アリーナ薬学部ブース）
「薬学のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
10:30~14:00

その他（全学部共通）

学食体験	11:00-14:00(13:30ラストオーダー)	(1階学生食堂)
入試制度説明	10:40-11:20 12:30-13:10	(2階204教室)
面接対策講座	10:50-11:20 13:20-13:50	(2階225教室)
入試・学生生活・宿舎相談	10:30-14:00	(5階アリーナ・501教室)
キャンパスツアー	10:50-11:20 12:30-13:00 13:20-13:50	(集合 5階 529教室)
メディアライブラリーセンター（図書館）	10:30-14:00	(8階)



模擬授業

(11:50-12:20)
3階303教室

ゲノム編集ってなんですか？

生物学、医学の分野で今最も注目を集めている新しい技術の一つが『ゲノム編集』です。動物や植物、そして我々人間が持っている遺伝子を自在に操作する事を可能にするゲノム編集を応用すれば、いままで困難だった遺伝病等の難病を治す事が可能になるかもしれないと期待されています。その一方で遺伝子を人為的に改変するという事に対して倫理的観点からの議論もあります。そんなゲノム編集の仕組みや発見のきっかけについてお話ししたいと思います。

講師 青木 一真
細胞生化学研究ユニット



東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了、博士（農学）。理化学研究所など幾つかの研究機関を経て、現在は帝京平成大学薬学部にて1年生の生物系薬学概論という講義や3年生の生物系実習を担当しています。

生物についてよく知ることは、病気や薬が効く仕組みを理解する上でとても重要なんです。



会場： 436教室(SGD室)(4階)

時間：第1回：11:00～11:30

第2回：13:00～13:30

予約なしで随時

「社会における薬剤師の活動」

「社会における薬剤師の活動」にはいろいろなあります。その一つに学校薬剤師によるお薬の適正使用についての啓発活動があります。このコーナーではこの活動に関わる映像、ポスターなどを通して「薬の正しい使い方」を学びましょう。是非、立ち寄ってみてください。

担当教員 西村哲治、福島紀子、鈴木政雄

オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！
タンパク質を見てみよう

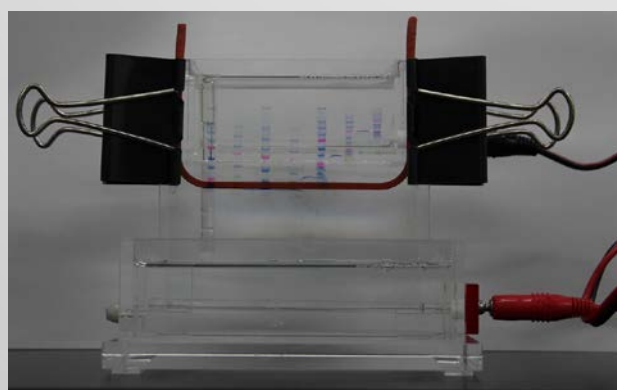
会場・時間

専門ラボ5（4階 417）11:00～14:00
（見学随時）

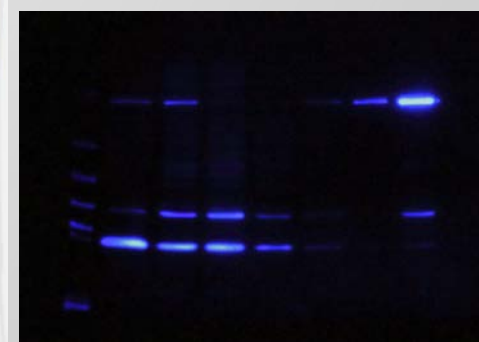
- ヒトの体を構成する重要な成分にタンパク質があり、約10万種類のタンパク質が存在すると考えられています。
- 私たちのラボでは唾液中の膜小胞の働きを調べています。この膜小胞には100種類以上のタンパク質が含まれているので、その中から感染症と戦うタンパク質や疾患の目印になるタンパク質を探しています。
- 今回のオープンラボでは①電気泳動やカラムクロマトグラフィーによるタンパク質の分離、②特定のタンパク質の発光による検出などのデモを行いますので、普段の研究を体験していただきたいと思います。



タンパク質分離用カラム



電気泳動装置



タンパク質の検出

● 担当教員

膜機能研究ユニット 矢ノ下 良平
小川裕子

オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！
有機化学の実験室を覗いてみよう

会場・時間
専門ラボ 1 (3階 315) 11:00~14:00
(見学随時)

- 医薬品の多くは分子量が数百程度の有機化合物で、いずれも有機合成や自然界を起源として見つかってきました。
- さらに医薬品の薬理作用の理解のためにも、有機化学を基盤とした分子レベルでの知見は欠かせません。
- 私達のラボでは、医薬品の候補となりうる生理活性物質を、有機合成や自然界からの探索により追い求めています。
- 今回のオープンラボでは、有機化学実験で汎用される、①クロマトグラフィーによる有機化合物の分離、②ロータリーエバポレーターを用いた有機溶媒の留去など、普段の私達の研究現場を体験できます。



薄層クロマトグラフィー(TLC)
有機化合物の分離・同定に大活躍。



ロータリーエバポレーター
有機系のラボには必ずあります。
溶媒を取り除くための装置。



核磁気共鳴装置 (NMR)
有機化合物の構造を決定する
のになくてはならない装置。

担当教員 医薬有機化学ユニット
名取 威徳 赤木 祐介